

電気器具からの出火を防止しよう!!

電気器具から火災が発生しないよう、次のことに心掛けましょう。



「電気器具からの出火防止ポイント」

- 1 たこ足配線をしない。
- 2 故障している電気器具、破損している電気コードをそのままにして使用しない。
- 3 コンセントとプラグの間にほこりを溜めないよう定期的に清掃するとともに、変形したプラグやコンセントをそのまま使用しない。
- 4 電気コードを束ねたまま使用しない。
- 5 濡れた手でコンセントや、スイッチに触れたりしない。また、プラグなどを濡らしたまま使用しない。
- 6 電気コードを家具などで下敷きにしたり、ドアなどではさんだりしない。

【万が一電気器具から火災が発生したら...】

万が一電気器具から火災が起こってしまった場合は、コンセントに差しこんでいるプラグを抜くか、ブレーカーを切り、落ち着いて粉末消火器を使って消火してください。感電のおそれがあるので、くれぐれも水や泡消火器を使用しないようにしましょう。



電気器具は安全規格に適合して造られた製品ですが、取り扱い方を誤ったり、悪条件が重なったりすると火災になる危険性があります。定期的に電気の使用状態を点検し、火の用心に心掛けましょう。また、危険と分かっているながらもそのままにしていたり、見落としがちになっている場所はないかこれを機会に家庭内の悪いところをチェックし改善を図りましょう。